

提案コンセプト

# みんなで創りつづける「文化の地形」としての図書館

## 活動と情報の動的な関係が「ふじのくに」の文化を形づくる

### 1. 活動と情報の蓄積による「文化の地形」

#### ■人々の営みがつくる道という「地形」

道は人が歩くことから生まれます。多くの人々が歩くことで、沿道に商売がおこり、やがてまちや文化が育ちます。道とは、人々の営みが蓄積して形成される地形であると言えます。

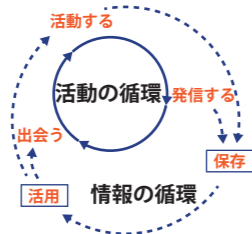


東海道が時代と共に経路を変えながら、やがて沿線に豊かなまちや文化を形作っていったように、開館後から人々の活動やその蓄積が、時間をかけてより豊かに育っていく「文化の地形」となる建築を提案します。

#### ■活動と情報の循環をつくる

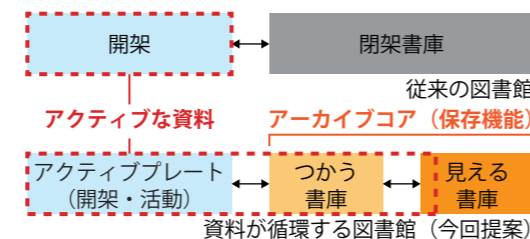
県立図書館は、収集した資料を永年保存するという大切な役割を有しています。その閉架に蓄積された膨大な資料を生きた資料として循環させることが重要です。

保存機能へのアクセス性を高め、情報と出会い・活動・発信する「活動の循環」によって、静岡ならではの生きた情報が蓄積され、活用される「情報の循環」をつくります。

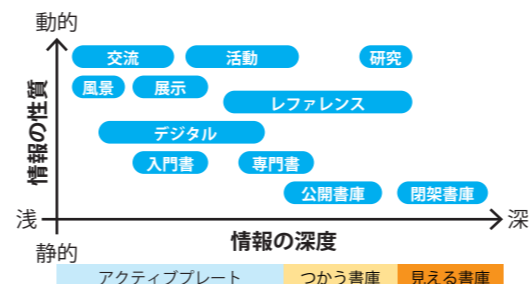


### 2. 活動と情報の動的な関係をつくる

■保存機能を開き、資料をアクティブにする  
活動と情報の循環を生むために、保存機能（公開書庫・閉架書庫）へのアクセス性を高めます。具体的には書庫を「つかう書庫」「見える書庫」（＝アーカイブコア）として開き、関連分野の開架・活動（＝アクティブプレート）とつなぎます。

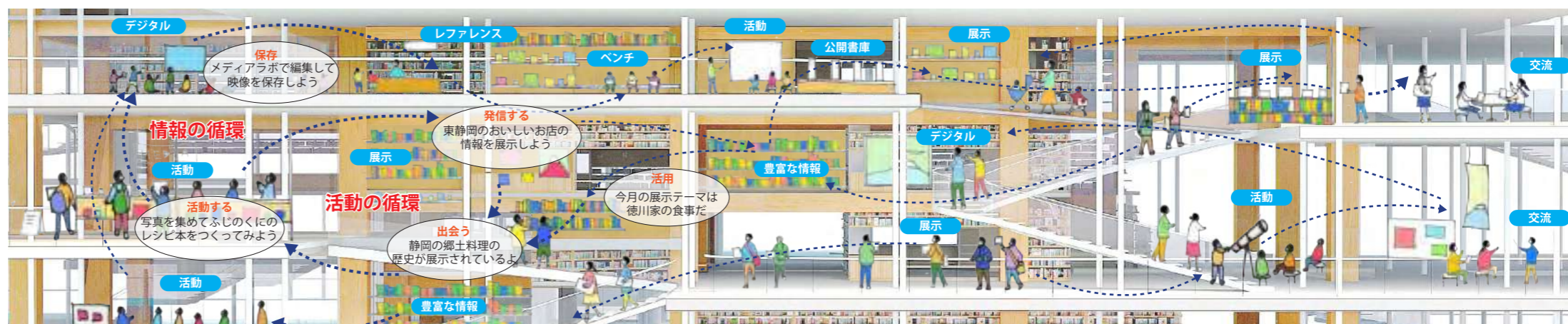
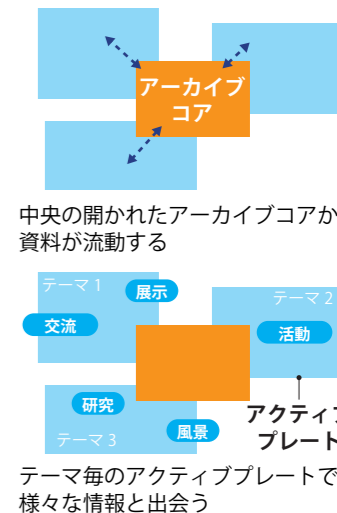
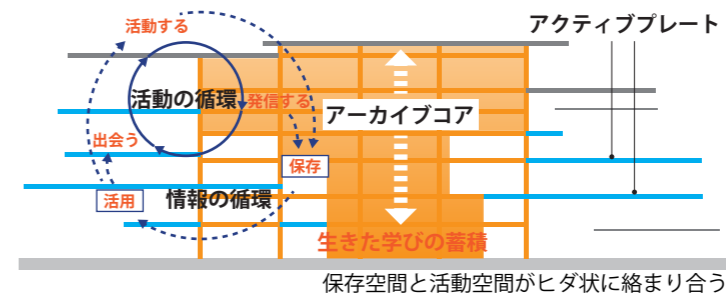


■多様な性質の情報との出会いを生む  
図書、展示、デジタル情報などの様々な資料や、活動すべてを情報として捉えます。深度や性質の異なる多様な情報との出会いによって、新たな興味や関心が生まれ、知的創造につながります。



### 3. 活動と情報が絡まり合う知的創造の空間

県立図書館の中核機能であるアーカイブコア（保存機能）を施設の中心に据え、その周囲に情報のテーマ分類毎のアクティブプレート（開架、活動）を立体的に配置します。平面的にも断面的にも保存空間と活動空間がヒダ状に絡まり合うことで、情報との多様な出会いをつくります。

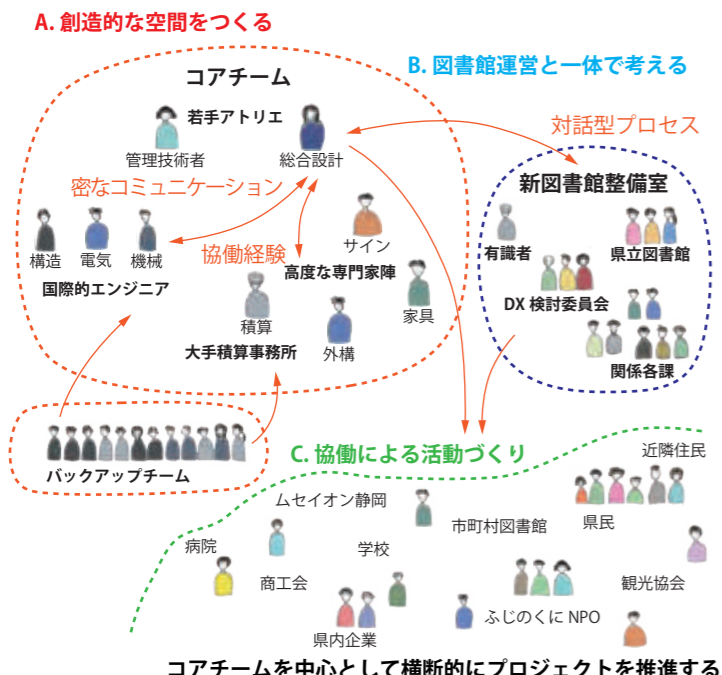


活動と情報の循環を生み出す空間

取組体制

### 顔の見えるコアチームを中心に、空間・運営・活動を一体的に考えて取り組む

- ・公共図書館や大規模建築設計経験の豊富なメンバーによるコンパクトで機動力の高いチームです。
- ・空間計画から運営計画、協働による体制づくりまでを一体的に考えて取り組みます。
- ・大手エンジニアリング事務所や積算事務所（PM/CM）による厚いバックアップ体制とします。



**A 創造的な空間設計を確実に実現する**  
大規模かつ多岐に渡るプログラムの本計画に、豊富な経験を活かして取り組みます。関係者の方々との対話を重視し、柔軟に計画を進めます。ホールドポイントを守り、確実に設計を遂行します。  
**B 図書館運営計画と一体的に設計を行う**  
豊富な図書館設計の経験を活かし、資料の分類、配架計画、運営計画、ICT 機器の配置、DX の導入など、図書館計画と一体となった設計を行います。  
**C 多面的な協働による活動づくり**  
市町村図書館や連携施設、市民活動グループなど、開館後の施設運営や活用に関わる方々と、施設づくりを通じた仲間づくり・活動づくり・体制づくりに共に取り組み、文化の土壌をつくります。

業務工程

### 発注者・図書館・県民など様々な関係者との協働による文化の地形づくりのプロセス

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
事業スケジュール	04	06	09			
設計期間	設計期間			発注	工事期間	共用開始
A. 空間設計	調査 基本設計	概算調整 実施設計	概算 資料作成	積算 調整		
B. 図書館運営計画	調査 管理運営計画 施設整備計画 開館準備計画	事前協議 図書購入・除籍計画	事前協議・申請 システム設計	計画通知	運営費用精査 移転費用精査	配架計画詳細
C. 多面的な協働	調査 市町村図書館視察 市町村図書館インタビュー	概算調整 県民活動インタビュー 県民活動総監づくり	概算 図書館計画キャラバン	積算 プレイベント企画づくり 新施設シミュレーション	調整 プレイベント プレイベント プレイベント プレイベント	調整 開館イベント サポーターズクラブ立上げ

空間計画・図書館運営計画・多面的な協働が絡み合って文化を蓄積するプロセス

# 様々な活動や緑が積層する新たな文化拠点



## 静岡ならではの文化の地形

### ■島状に浮かぶ文化の拠点

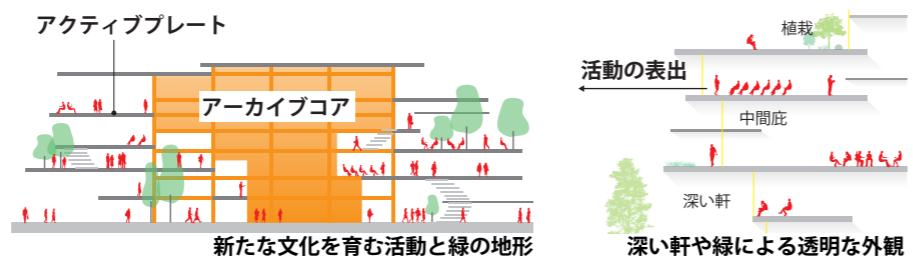
都市機能が集中する静岡平野では、島状に浮かぶ有度山や谷津山、八幡山が歴史や文化の拠点を守ってきたように、東静岡駅前に新たな文化の地形をつくります。



## まちに開いたランドスケープとしてのアクティブプレート

### ■活動や緑の環境がまちのファサードになる

資料を視覚化するアーカイブコアを幹として、活動の場や緑の庭としてのアクティブプレートが立体的に取り巻く構成とします。深い軒や植栽によって日射を制御して内外の境界の透明性を高めることで、活動や緑そのものが、まちのファサードとなります。



### ■活動や緑の立体的なランドスケープ

それぞれのアクティブプレートには、情報環境のテーマに合わせて有機的な居場所や庭をつくり、利用者が自由に居場所を選んで過ごせる空間とします。



## ヒューマンスケールな居場所をまちに展開する

分節された多様なアクティブプレートをまちに展開し、東静岡駅前にヒューマンスケールな居場所をつくります。



■立体的に施設内を巡る回遊動線  
各層をおおらかな回遊動線で結び、巡りたくなる空間をつくる



■有機的なアクティブプレートの重なり  
個性の異なる庭や活動の場を重ね、多様な繋がりを生み出す



■活動や情報の蓄積を視覚化するアーカイブコア  
県立図書館の膨大な資料や活動の履歴を常に感じる空間をつくる



■まちと軽やかにつながるアクティブプレート  
ヒューマンスケールに分節された場がまちに立体的に展開する



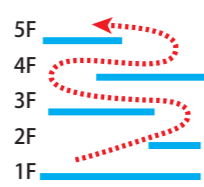
# インクルーシブな多環境の空間

静岡県は富士山や伊豆半島、浜名湖といった日本有数の地理的特徴や、安定した日照、穏やかな通風、豊富な地下水を合わせもつ土地です。新図書館は、その多様な環境に開いて温熱や光、音、素材、植生、閲覧スタイルや資料の見せ方などによって積極的に場所のムラをつくります。来館者が様々な環境の中から快適な居場所を自ら選び取って過ごすことができるインクルーシブな空間とします。

## 誰もが五感で認知できる空間づくり

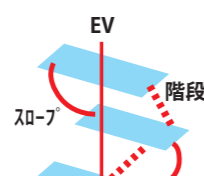
### ■回遊性のある 5 層の利用者フロア

利用者フロアを 5 層に抑え、特徴あるアクティブプレートを立て的に回遊できるプランとします。すべてのプレートには EV カスロープで着床でき、誰もが安心してアクセス可能です。



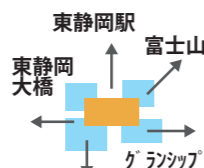
### ■自然に人を誘導する立体動線

エントランスから分かりやすい位置にある 2 箇所の利用者用 EV はもちろん、スロープや階段が見えることで、自然と次の空間へと行きたくくなります。



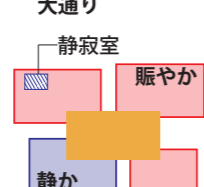
### ■まちの風景でどこにいるかが分かる

四周に開かれたファサードとすることで、どこにいてもまちの風景が見えます。富士山やグランシップ、大通りを眺めることで、体感的に方角を認知します。



### ■テーマ毎の音のゾーニング

音環境はアクティブプレートのテーマ毎に適切な環境をつくります。また賑やかなエリアにも静寂性の確保できる室を配置し、誰もが過ごしやすい場所とします。



### ■デジタルとフィジカルの両面支援

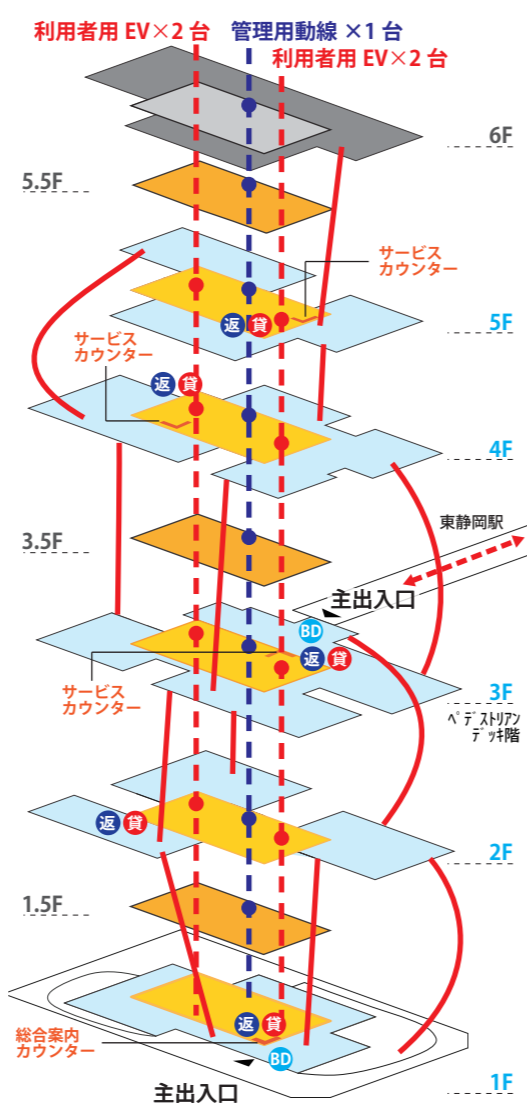
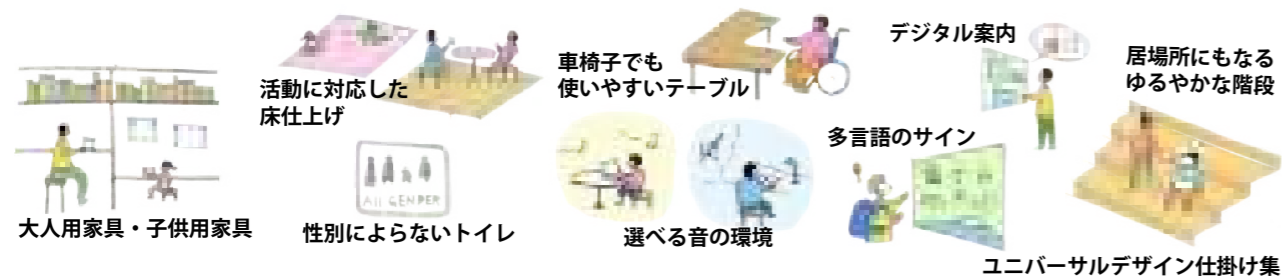
動線から視認性の高い位置にデジタルツールを配置します。デジタルツールは貸出や返却を自動化し、また他言語を支援します。適切な自動化により、職員が館内をくまなく歩き回り、利用者に直接声をかけるサービスが展開できます。

### ■働く場としてのユニバーサルデザイン

利用者に加えて、職員の環境においてもユニバーサルデザインを徹底し、誰もが自己実現する場を目指します。

## 多様性を学ぶ場として

新図書館は、ユニバーサルデザインを通じて、多様な在り方を学ぶ場だと考えます。様々な仕掛けにより世代や性別、障害の有無、国籍の違い、興味の違いなどがあることを意識し、互いが快適に過ごすための思いやりを育てます。



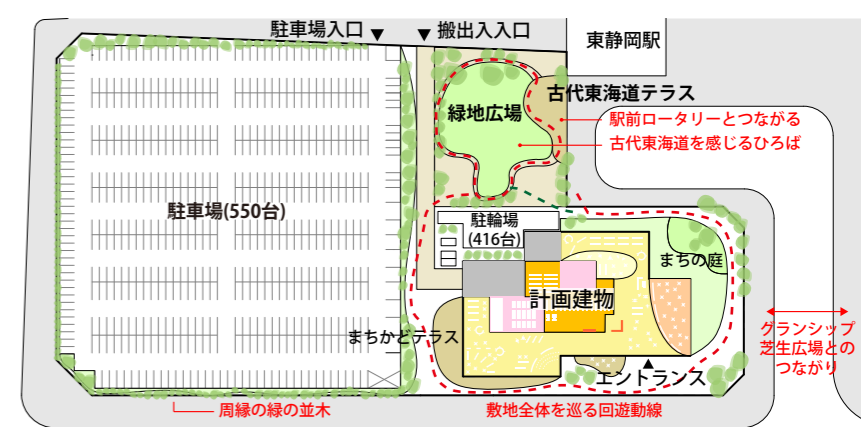
## 「まちと繋がり、人の居場所をつくる」と共に「周辺環境を向上する」豊かなランドスケープ

### ■静岡の植生や周辺環境と調和するランドスケープ

街路樹やグランシップの芝生広場、富士山への眺望に呼応するように、駐車場周縁を含めた敷地全体を緑豊かな環境とします。

### ■多環境な庭をつくる

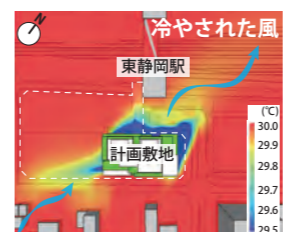
地上部から連続して施設を立体的に取り巻く植栽は、高低差の大きい静岡県域の多様な植生を取入れられます。また、居場所と関連づけた設えとすることで、それぞれの庭ごとに特徴ある空間とし、潤いある景観をつくります。



まちと繋がり、人の居場所をつくるランドスケープ

### ■効果的な緑化がまちを冷やす

何層にも積層された緑化テラスは、憩いの場となるだけでなく、その蒸散効果によって外気温を低下させ、その周囲へとしみ出させる、街の冷却装置にもなります。



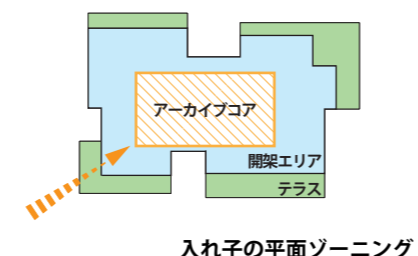
豊かな周辺環境を生み出すランドスケープ

## 静岡の豊かな気候風土が支える、最先端の環境配慮型図書館

静岡は年間を通じて日照時間が長く、南北を結ぶ明瞭な風の軸が特徴的です。最新のコンピューティングデザインを活用し、静岡の歴史や文化を支えてきた温暖で穏やかな気候風土だからこそ実現できる、唯一の環境配慮型図書館を生み出します。

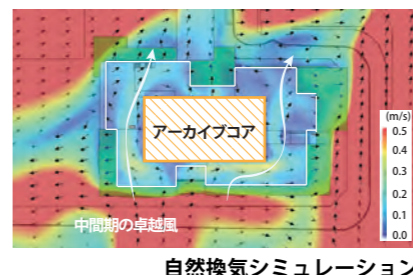
### ■入れ子状の環境ゾーニング

高精度の空調・照明制御を要するアーカイブコアを安定した中心に置き、入れ子状の空間構成とすることで、保存環境と居住環境を適切に計画します。



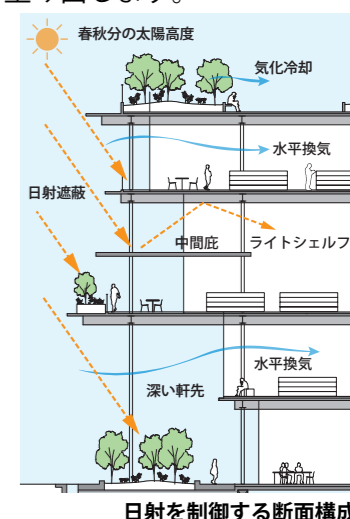
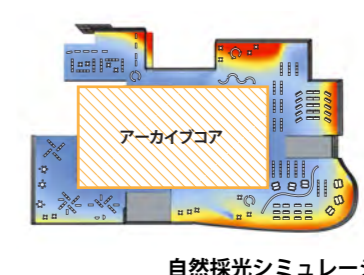
### ■ボリュームの分節化と水平換気

分節されたアクティブプレートは南北の開開口部からの水平換気を行うことができ、中間期はもちろん、感染症対策にも十分な換気回数を確保します。

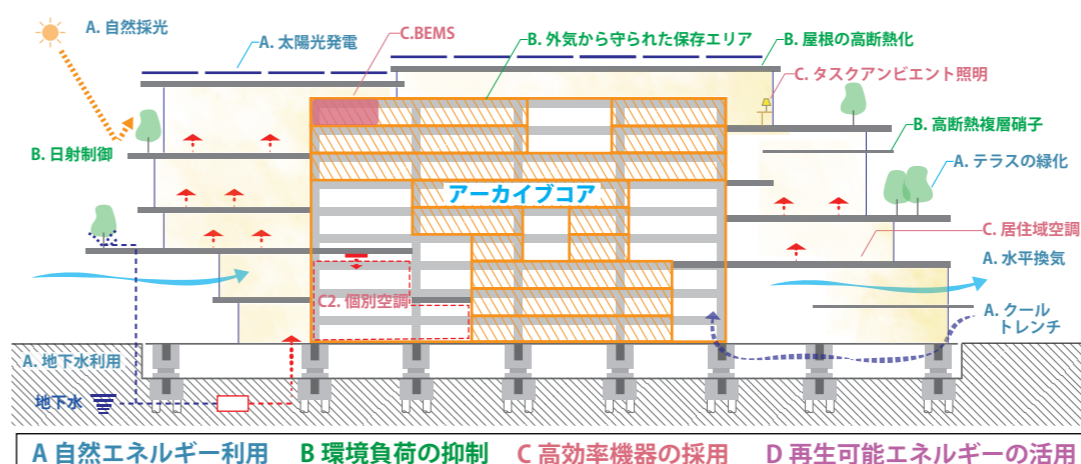


### ■人と書籍に適した自然採光

方位ごとに最適な庇の形状は常に直射光を効果的に遮り、窓際では明るく開放的な視環境をつくり、内側では控えめで落ち着いた明るさで本を守ります。

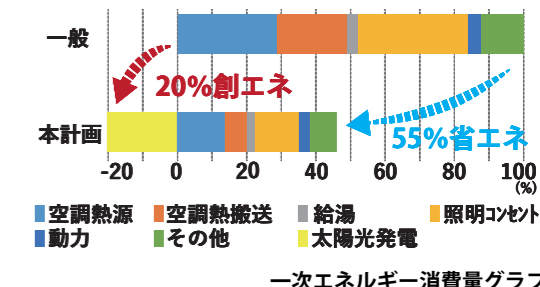


## ■4つの分野で徹底的な省エネルギー化を実施



## ■NearlyZEBを目指す

左記の 4 つの技術をバランスよく組み合わせ、また再生可能エネルギーの創エネによって、一次エネルギー消費量を 75% 以上削減し、Nearly ZEB を目指します。



一次エネルギー消費量グラフ

# 同種公共施設設計の経験・実績を活かした合理的なコストバランスと確実なコスト管理

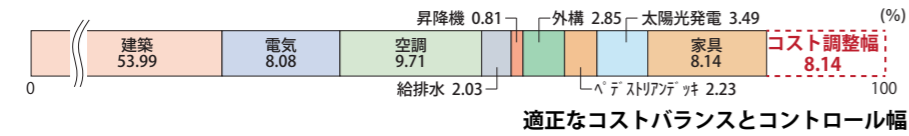
## コストバランスの適正化と変動リスクに対応する

### ■コストバランスの適正化

経験豊富な積算主任技術者が中心となって同種施設のコスト実績値や最新の物価動向を分析し、適切なコストバランスで計画します。

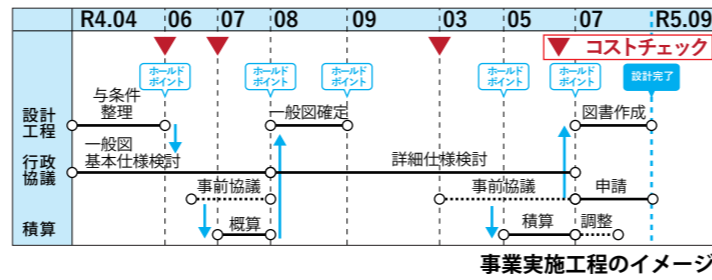
### ■コストコントロール幅の確保

設計プロセスの中での様々な要望への対応や、昨今の社会情勢による変動幅の大きい物価変動リスクへの対応の必要性をふまえ、直接工事費の 8% 程度のコストコントロール幅を持ちながら計画を進めます。



## 定期的なコストチェックの実施

設計の初期段階から要求水準のポイントをベースに定期的に概算工事費の算出を行い、確実なコストコントロールを実施します。



## 精度の高い概算工事費の算出

今回提案における概算精度は、過去実績の公共施設設計時に行った基本設計概算時を基準とし以下の方法で算出しています。業務開始後も根拠を明示し、リスク管理をすることで概算精度を担保します。

- ① 建築躯体  
各種躯体数量を算出の上、最新単価により値入れ
- ② 建築仕上げ、家具など  
各種面積、数量算定を行い実績単価と見積を併用
- ③ 電気、空調、衛生  
工種毎に同等仕様の計画の単価を採用

## コスト比の大きい躯体費を低減する、大小のフレームを組み合わせた合理的な構造計画

### ■中央の堅牢なメインフレームと、外周の繊細なサブフレームによる構成

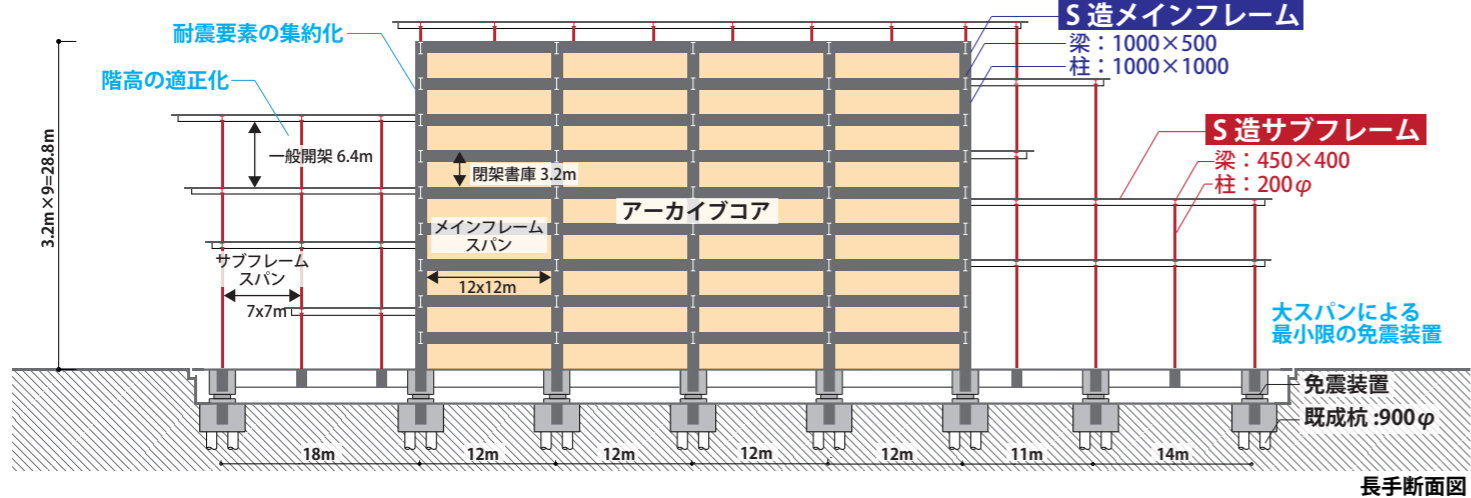
書庫や活動室による中央部分は、大スパン (12m) の整形なグリッドフレームによって合理的に構成します。これに対して、開架やテラスによる外周部は、繊細かつ自由度の高いサブフレームによって開放的な空間とします。大小のフレームの適材適所の組み合わせによって、それぞれの合理性を最大化し、無駄のない構造体を実現します。

### ■階高の適正化

階高の大きい開架エリアと、階高の小さい書庫を組み合わせることで、無駄な気積をなくした合理的な計画とします。

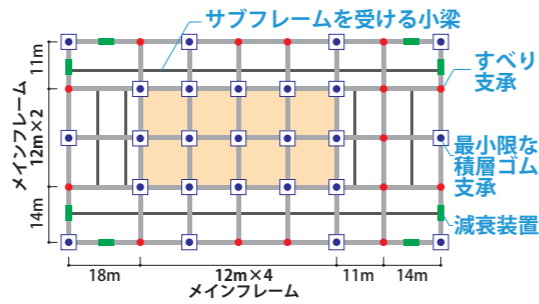
### ■免震構造による LCC 低減

地震時の躯体や仕上げの損傷による大規模修繕を最小化し、改修費を削減します。



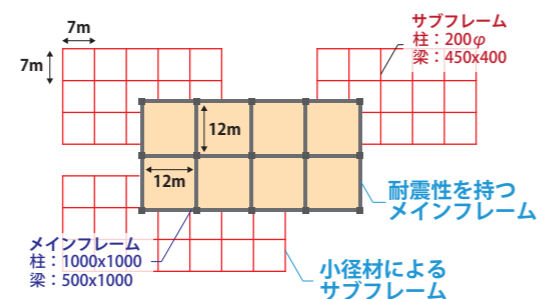
### ■免震装置の数を極小化する計画

大スパンのメインフレーム部分を中心に効率良く免震装置を設置します。サブフレーム部分は基礎梁でフレームを受けることで、主に外周部のみに免震装置を設置します。これによって一般的な 8m 程度グリッドの建物に対して、免震装置の数を大幅に低減します。



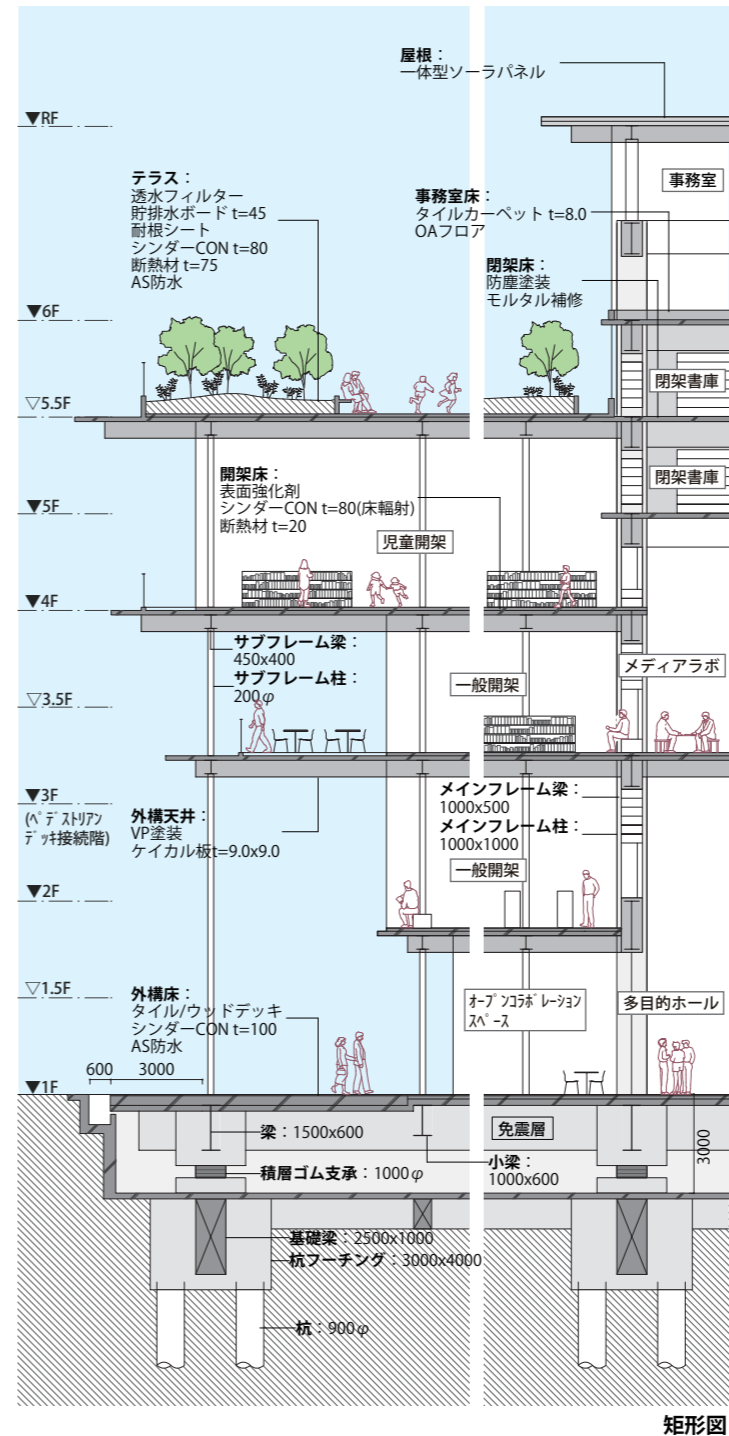
### ■中央に耐震要素を集約し更新性を確保

メインフレームによって構成されるアーカイブコア内に、すべての耐震要素を集約することで、開架エリアは鉛直荷重を受ける小径の鉄骨柱のみのフレキシビリティの高い空間とします。将来のレイアウト変更や収蔵量の増加などに対して、更新の自由度の高い計画です。



## 仕様の合理化

<b>躯体</b>
メインフレームとサブフレームを合理的に使い分け
<b>サッシ</b>
階高が高い部分は鉄骨受け材を設け、規格サイズによって構成
<b>仕上げ</b>
利用者と管理者エリアでメリハリのある仕様を採用
<b>電気</b>
タスクアンビエントにより、照明器具数を適正化
<b>空調</b>
気積の大小により個別と輻射を使い分けることで適正化
<b>衛生</b>
アーカイブコア内にルートを集約し横引きを最小化



I 全体工事費内訳	金額(千円)	割合(全体)	m単価	備考
1 建築工事	6,629,050	53.99%	334,801	
2 電気設備工事	991,980	8.08%	50,100	
3 空調設備工事	1,192,590	9.71%	60,232	
4 給排水設備工事	249,120	2.03%	12,582	
5 昇降機設備工事	99,550	0.81%	5,028	合計5基
6 外構工事	350,170	2.85%		24,000m <sup>2</sup> (植栽込)
7 ベデストリアンデッキ工事	273,600	2.23%		躯体・仕上げ共
8 太陽光発電設備工事	428,260	3.49%		
9 家具工事	1,065,000	8.14%	53,788	開架・保存・事務共
10 コスト調整幅	1,000,000	8.14%		直接工事費の約8%
直接工事費合計	12,279,320		620,168	
共通仮設費	491,173		24,807	直接工事費の5%
諸経費	1,915,574		96,746	直接工事費の15%
端数調整	-6,067			
合計 (工事価格)	14,680,000		741,414	
消費税	1,468,000		74,141	工事価格の10%
税込み工事費	16,148,000		815,556	

II 建築工事内訳	金額(千円)	割合(躯体)	m単価	備考
1 直接仮設	210,100	3.03%	10,611	
2 土工	182,670	2.63%	9,226	根切り28,000m <sup>2</sup>
3 地業	146,460	2.11%	7,397	φ900PHC杭113本
4 鉄筋	256,470	3.70%	12,953	1570ton
5 コンクリート	229,230	3.30%	11,577	13,200m <sup>3</sup>
6 型枠	268,900	3.88%	13,581	55,500m <sup>2</sup>
7 鉄骨	2,264,000	32.63%	114,343	4,700ton
8 免震装置	225,960	3.26%	11,412	NRB,LRB,SB,RDT
9 既成コンクリート	51,200	0.74%	2,586	
10 防水	27,900	0.40%	1,409	
11 タイル	99,400	1.43%	5,020	
12 木工	256,600	3.70%	12,960	
13 屋根及び樋	149,500	2.15%	7,551	下屋含め4800m <sup>2</sup>
14 金属	371,100	5.35%	18,742	
15 左官	20,600	0.30%	1,040	
16 建具	822,450	11.85%	41,538	外部6,800m <sup>2</sup> +内部
17 塗装	50,600	0.73%	2,556	
18 内外装	439,600	6.34%	22,202	
19 ユニット及びその他	395,570	5.70%	19,978	
20 建設副産物	160,740	2.32%	8,118	残土処分費
直工事費合計	6,629,050		334,801	

III 電気設備 内訳	金額(千円)	割合(電気)	m単価	備考
1 電力・電話・情報引き込み	34,470	3.47%	1,741	
2 受変電設備	149,670	15.09%	7,559	
3 非常用発電設備	32,400	3.27%	1,636	
4 幹線設備	55,800	5.63%	2,818	
5 接地	9,360	0.94%	473	
6 動力設備	50,760	5.12%	2,564	
7 電灯・コンセント	221,670	22.35%	11,195	
8 照明器具設備	311,940	31.45%	15,755	
9 構内交換設備	36,360	3.67%	1,836	
10 構内情報通信網設備	5,940	0.60%	300	
11 テレビ共同受信設備	6,390	0.64%	323	
12 拡声設備	20,880	2.10%	1,055	
13 誘導支援設備	5,490	0.55%	277	
14 映像・音響設備	900	0.09%	45	
15 入館退館者計測設備	7,020	0.71%	355	
16 入退室管理	8,010	0.81%	405	
17 自動火災報知設備	28,980	2.92%	1,464	
18 監視カメラ設備	5,940	0.60%	300	
直工事費合計	991,980		50,100	

IV 空調設備 内訳	金額(千円)	割合(空調)	m単価	備考
1 熱源設備	249,570	20.93%	12,605	
2 空調設備	598,500	50.18%	30,227	
3 換気設備	164,250	13.77%	8,295	
4 排煙設備	44,280	3.71%	2,236	
5 自動制御設備	135,990	11.40%	6,868	
直工事費合計	1,192,590		60,232	

V 給排水衛生 内訳	金額(千円)	割合(衛生)	m単価	備考
1 衛生器具	35,910	14.41%		
2 給水設備	41,130	16.51%		
3 排水通気設備	75,600	30.35%		
4 給湯設備	26,550	10.66%		
5 消火設備	69,930	28.07%		
直工事費合計	249,120			

(様式14) 技術提案用途別面積表 (2次)

用途別面積表	技術提案面積 (㎡)
エリア・スペース・諸室	10,919
サービスエリア	10,919
一般閲覧スペース	5,126
書架/閲覧室	4,658
各一般コーナー(カウンター除く)	412
カウンター	36
対面朗読室	20
その他	0
児童書関連	1,521
児童室	748
読み聞かせの部屋	50
子ども図書研究室	620
カウンター	54
その他	50
地域資料スペース	824
書架/閲覧室	564
貴重書展示コーナー	84
歴史文化情報センター	140
カウンター	36
学びの活動スペース	529
学習室	269
個室研究室	30
サイレントルーム	230
交流スペース	2,598
情報発信コーナー	192
テーマ別配架コーナー	335
各種ラボ	816
オープンコラボレーションスペース	592
多目的ホール	222
セミナールーム	352
受付カウンター	36
大学コンソシア相談窓口	54
カフェ・ラウンジ	321
カフェ	161
ラウンジ	161
保存エリア	4,434
公開書庫	1,792
閉架書庫	2,444
貴重書庫	144
保存処理室	54
管理・共有エリア	4,623
直営管理	1,363
館長室	35
特別会議室	35
事務室	546
作業室	49
印刷室	35
協力車発着ステーション	222
サーバー室	72
給湯室	11
休憩室・更衣室	72
ボランティア室	36
倉庫・備品室	125
職員用会議室	126
民間管理	456
運営事務室	192
備品倉庫	264
共有機能	2,804
廊下、トイレ、機械室等	2,804
合計	19,976

各階平面図 S=1:1000

- AP アクティブプレート
- BD BDS
- 利用者フロア
- 自動返却機
- 管理フロア
- 自動貸出機

		1F	1.5F	2F	3F	3.5F	4F	5F	5.5F	6F	合計
アクティブプレート	開架	104連		358連	376連		560連	604連			2002連
アーカイブコア	公開書庫	220連		324連	140連		428連	434連			1546連
	閉架書庫		1114連						2612連	1640連	6794連

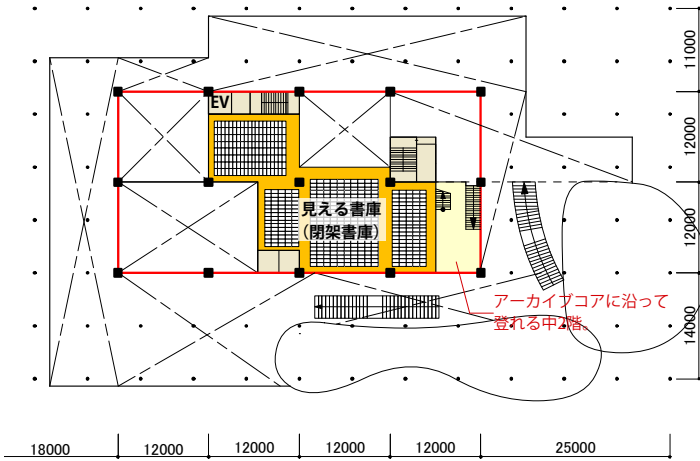
※交流機能テーマ配架、貴重書展示を除く

参加者番号

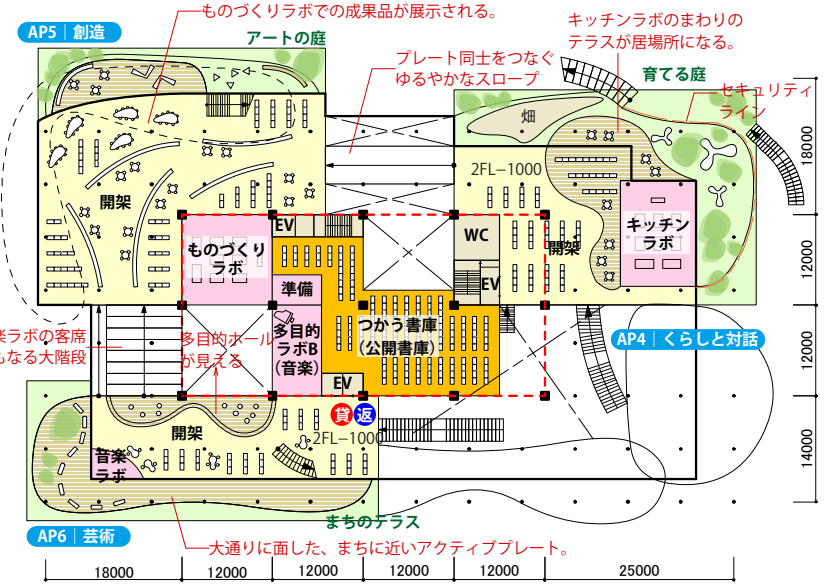
0 0 1



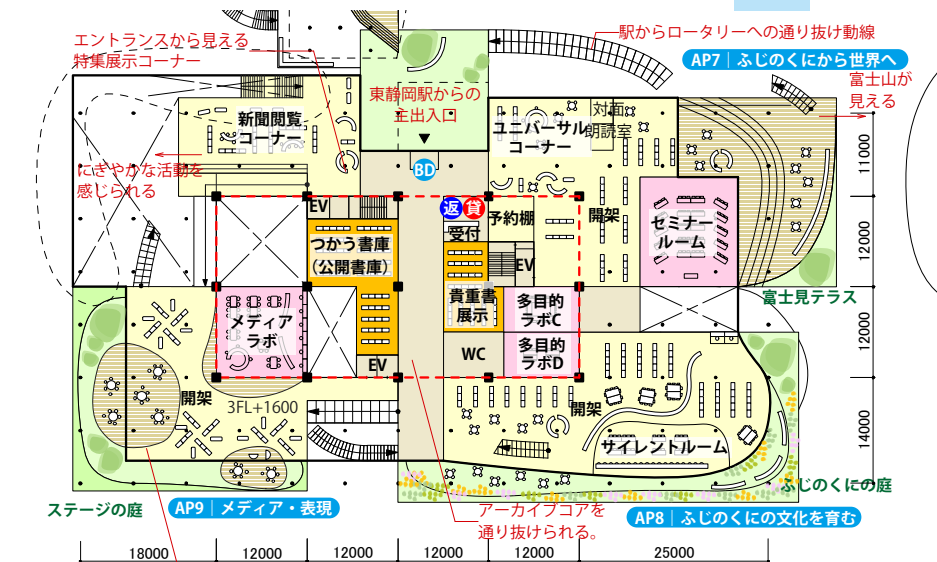
1F



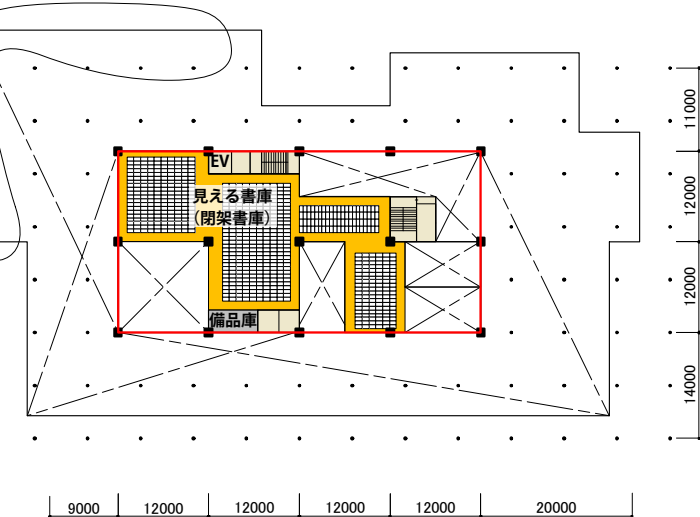
1.5F



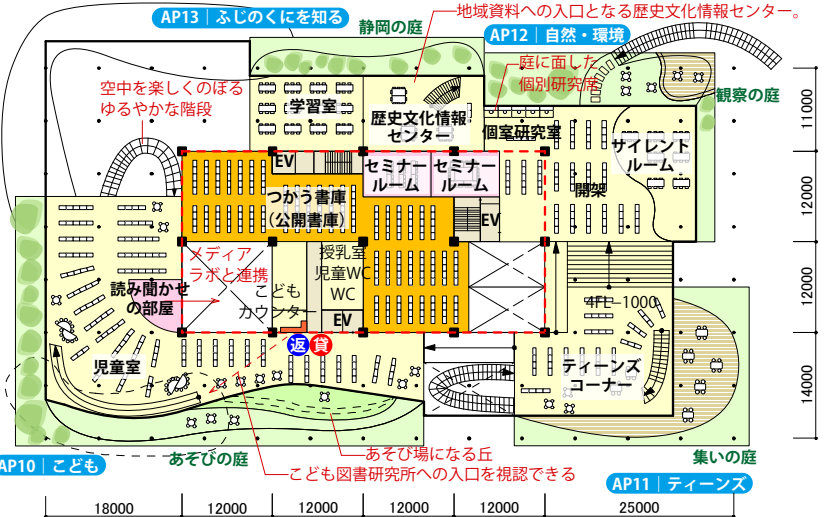
2F



3F



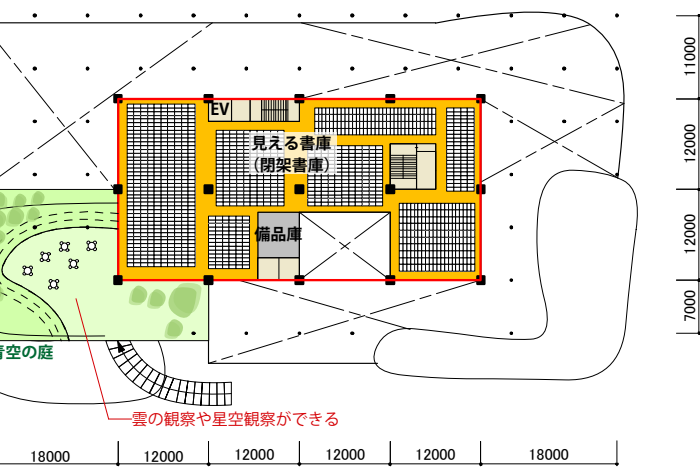
3.5F



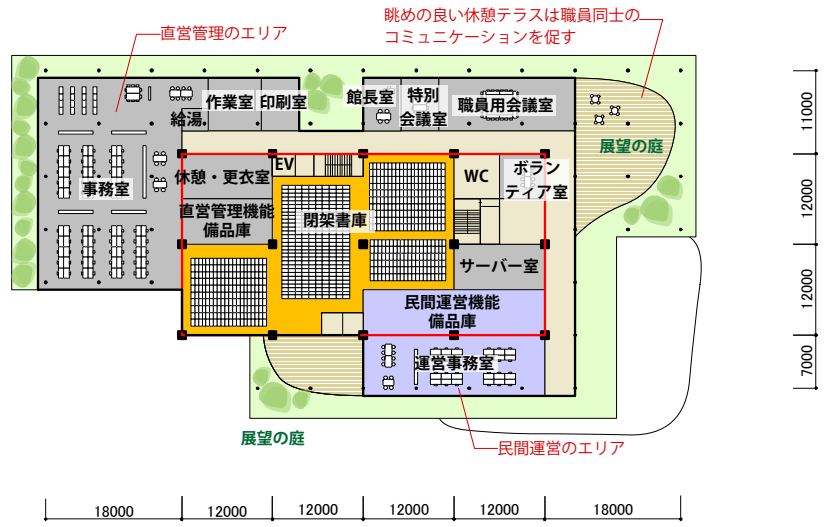
4F



5F



5.5F



6F